

Market Watching

市場レポート

テーマ: Weekly Market Report (2005年12月12日～)

発表日: 2005年12月12日 (月)

～景気楽観なら金融政策警戒は当然か～

(No. MW-37)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
12月12日 (月)	日本	消費動向調査 (11月)・消費者態度指数	★			47.9	
		企業物価指数 (11月)・国内	★	+0.1%	▲0.1~+0.5%	+0.2%	前月比
		国際収支 (10月)		13,176	12,558~18,780	18,582	億円
	米国	財政収支 (11月)		▲610	▲810~▲500	▲472	億ドル
12月13日 (火)	他	ASEAN+日中韓首脳会議 (~14日) OPEC総会 (クウェート)	★				
	日本	20年債入札					
12月14日 (水)	日本	首都圏・近畿圏マンション販売 (11月)	★			+8.9%	前年比
		日本政策投資銀行設備投資調査・06年度計画				▲1.0%	前年度比
	欧州	英消費者物価 (11月)		+2.2%	+2.1~+2.6%	+2.3%	前年比
		独ZEW景況指数 (12月)	★	41.0	38.5~46.7	38.7	
	米国	小売売上高 (11月)	★★	+0.5%	▲0.7~+1.2%	▲0.1%	前月比
		同除自動車 (11月)	★★	+0.1%	▲0.5~+0.8%	+0.9%	前月比
		企業在庫 (10月)		+0.5%	+0.3~+0.7%	+0.5%	前月比
		FOMC	★★★	+25bp	+25bp	+25bp	FF金利変更幅
	他	WTO (世界貿易機関) 閣僚会議					
	12月15日 (木)	日本	日銀短観・業況判断DI・大企業製造業 (12月)	★★★	+23	+21~+26	+19
・大企業非製造業 (12月)			★★★	+17	+15~+18	+15	
欧州		英失業率 (11月)		2.8%	2.8~2.9%	2.8%	
米国		貿易収支 (10月)	★	▲629	▲667~▲660	▲661	億ドル
12月16日 (金)	日本	輸入物価 (11月)	★	▲0.5%	▲1.5~+0.5%	▲0.3%	前月比
		資金循環勘定 (7~9月期)					
	欧州	英小売売上高 (11月)		+0.3%	▲0.5~+0.6%	+0.2%	前月比
		EU首脳会議 (16日まで)					
	米国	消費者物価 (11月)	★	▲0.4%	▲0.8~+0.2%	+0.2%	前月比
		同コア (11月)	★★★	+0.2%	+0.1~+0.3%	+0.2%	前月比
		NY連銀製造業景気指数 (12月)	★	+18.2	+15.0~+23.5	+22.8	
		フィラデルフィア連銀景況指数 (12月)	★	+14.0	+7.7~+19.0	+11.5	
		鉱工業生産 (11月)	★	+0.5%	+0.2~+0.8%	+0.9%	前月比
		設備稼働率 (11月)		79.8%	79.0~80.1%	79.5%	
他	対米証券投資 (10月)				+1019	億ドル	
12月16日 (金)	日本	イラク総選挙	★				
		日銀金融政策決定会合 (15日~)					
		福井日銀総裁記者会見	★★★				
	金融経済月報	★					
欧州	欧消費者物価 (11月)	★	+2.4%	+2.4~+2.5%	+2.4%	前年比	
	diff景況感指数 (12月)	★★	98.0	97.7~98.5	97.8		
米国	経常収支 (7~9月期)	★	▲2,041	▲2,075~▲1,650	▲1,957	億ドル	

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種バンダー調査に基づく
注目度は筆者

今週の注目点

今週は、内外ともに重要経済指標の発表やイベントが多く、盛りだくさんの内容である。日本では、短観 (12/14)、金融政策決定会合後の福井日銀総裁記者会見 (12/16) が注目される。短観に関しては、参考指標となるロイター短観の内容が強めだったこともあり、市場は前回 (9月調査) 対比かなりの改善を見込んでいる。これだけの改善を見込んでいる場合、結果が予想の範囲内にとどまると市場では寧ろ“失望”が拡がることとなる。これまでの上昇が早かった株式市場ではそうした懸念も残るが、債券市場では量的緩和脱却を巡る問題もあって金利上昇が抑圧されている面もあり、短観の結果がコンセンサスほどではなかったとしても、改善していれば相応の金利上昇に繋がる可能性はある。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

米国では、FOMC (12/13) とCPI (12/15) が注目される。こここのところの強めの指標を受けて、FRBは市場が期待している以上に利上げを継続するとの見方が出つつある。今回の利上げ後の声明文で、利上げ一服が示唆されるような内容になればサプライズ。景気に対し中立的な水準に近づいていることを示唆する可能性はあるが、その場合同時に物価上昇に絡むリスクも提示され、結果的にトーンはこれまでと大差ないものとなろう。CPIは、抑制されているコアの動向が注目。継続的且つ累積的なエネルギー価格上昇の影響はコアには波及しないとの楽観的な見方が強いだけに、常に上ぶれリスクには注意したい。

全体的に、景気に対して楽観的な見方が強まると同時に、金融政策など金利に対する警戒的な動きも出始めているのが足下のマーケット動向だが、これらはそのまま来年のマーケットの主要テーマとなろう。

【債券市場】：図表は3～4ページ

先週は、主要国で長期金利は上昇、短期金利はまちまち。強めの経済指標を受けて、米欧などで利上げ継続観測が高まったことなどが金利上昇要因となった。ただし、ユーロ圏ではECB高官の発言から、比較の間をおかずに追加利上げがあり得るとの見方が台頭、短期ゾーン中心の上昇となった。今週は、内外ともに経済指標の発表やイベントが多い。国内では短観(14日発表)が注目される。事前予想が強気となっているものの、量的緩和を巡る“ゴタゴタ”もあって、金利は景気の強さを織り込んだ水準にあると言いはれ、結果が予想の範囲内にとどまったとしても悪い内容でないならば金利は上昇する可能性が大きい。米国ではFOMC声明文が、先行き利上げペースの鈍化、ないしは打ち止めが示唆されるような内容となるかに焦点が当たる。ただし、現段階でFedがそういった判断を明確に打ち出すとは見込み難しく、米金利も上昇傾向を辿ろう。

【株式市場】：図表は5ページ

先週は、米欧を中心にやや軟調な展開となった。景気に対する強気の見方は保たれているものの、これまで織り込んでいた以上に利上げが続く(米国)、速いテンポで利上げが行われる(ユーロ圏)などの見方が強まった結果金利が上昇したことが、株価軟調に繋がった。日本では、誤発注問題で急落する場面も見られた。今週は、重要指標の発表やイベントが多い。株式市場も、景気の先行きに対してより強い材料を織り込むチャンスである一方、行き過ぎれば金利の上昇によって寧ろ下落圧力が高まるリスクもある。特に、利上げ継続は景気に対して着実に抑制圧力を強めると見られる米国市場は要注意。米市場の動向は、外国人保有比率の高い日本にも飛び火する公算がある。

【為替市場】：図表は6ページ

先週は、ドルは円や中南米通貨に対しては上昇したものの、欧州や日本を除くアジア通貨に対しては軟調に推移した。ドル/円やユーロ/ドル相場に関しては、引き続き金利差に着目した動きが続いている。今週は、ドルは引き続き円に対して堅調に推移すると予想される。ただし、米金利の上昇が行き過ぎるとの見方が強まれば、米景気減速懸念などからドルが軟調に推移する転機になる可能性もある。日米ともに金融政策の決定会合があるが、その声明文や記者会見などの内容次第で相場展開は大きく変わってくる可能性があり要注意。

【商品市場】：図表は7ページ

先週は、非鉄金属が引き続き好調に推移した一方、原油(WTI)は前週末水準を小幅上回る程度の上昇にとどまった。金は伸伸び、1トロイオンス=531ドル台にまで上昇、81年4月以来の水準に達した。今週は、OPEC総会が開かれるものの、現在の原油価格高止まりに対して有効な策が講じられるとは見込み難い。ただし、引き続き北米でのヒーティングオイル需給に引き締め感はないため、原油価格の上昇余地も限定的。

[債券市場]

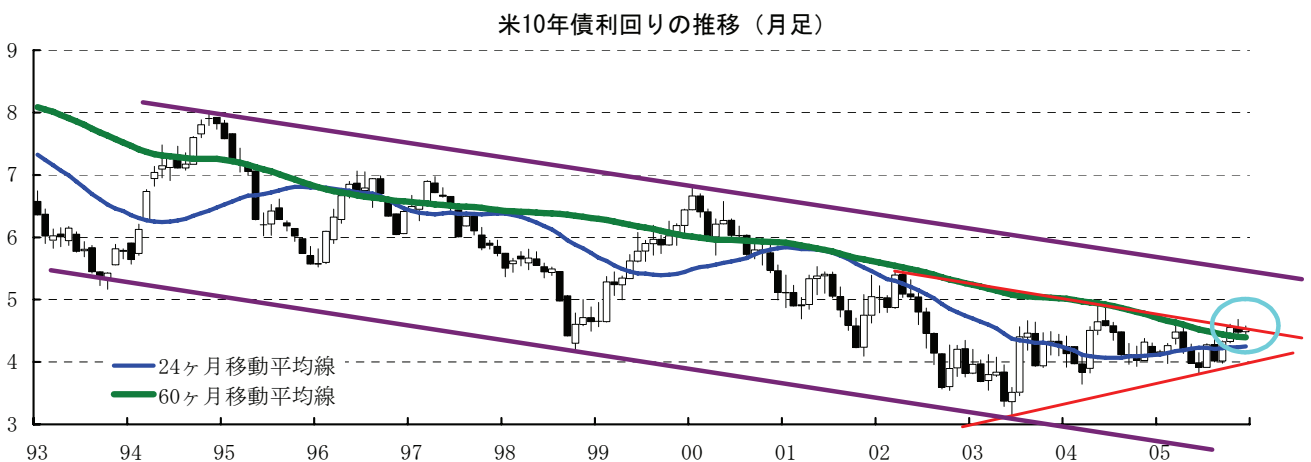
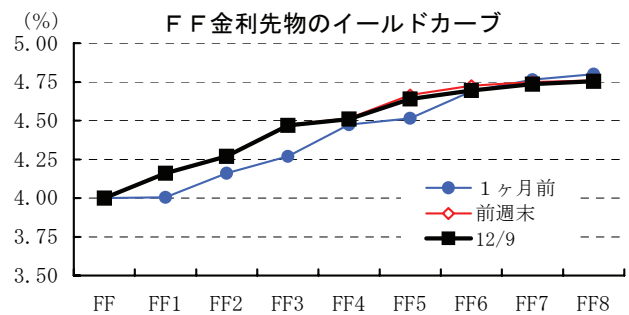
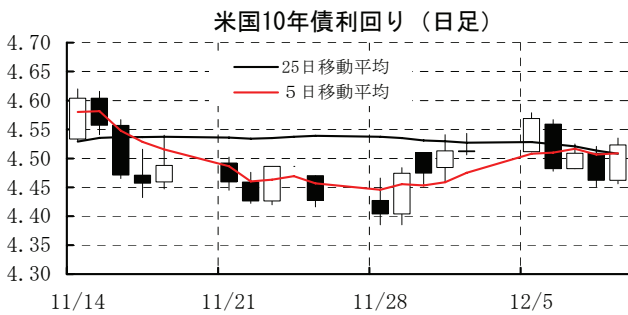
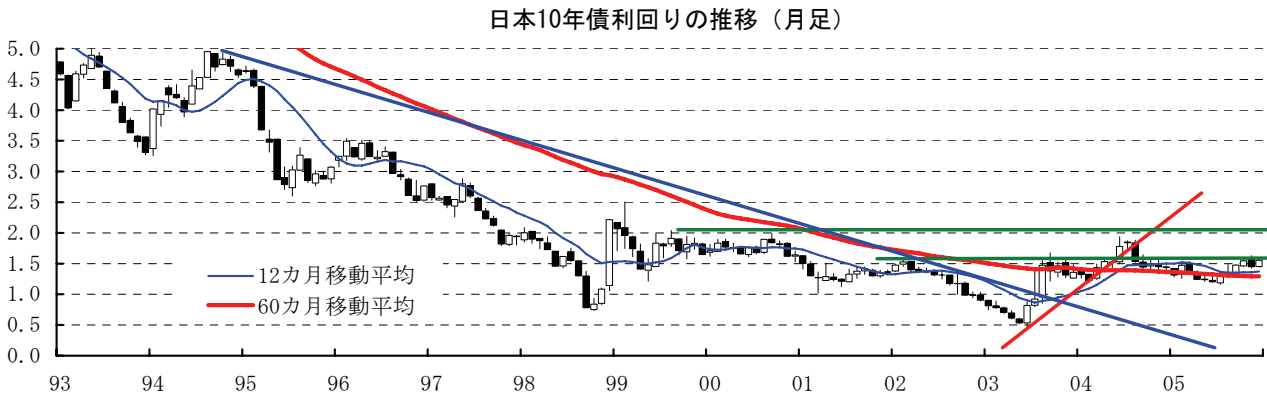
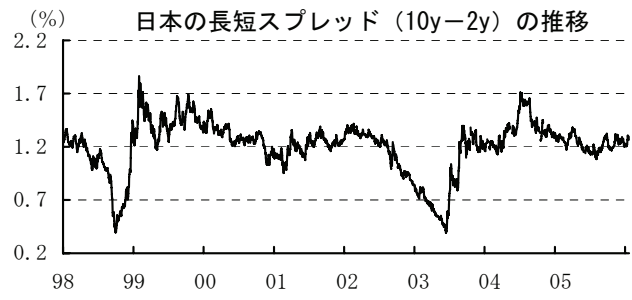
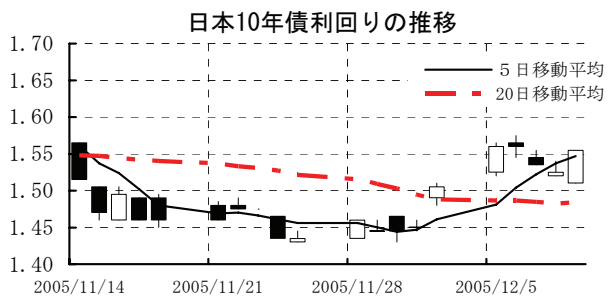
	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前	
2年	日本	0.260	+16	▲5	+2	▲1	+4	+3	+9	+6	▲6	▲2	+1
	米国	4.400	+148	▲8	▲2	+1	+38	▲20	+35	+21	+3	▲4	+7
	イギリス	4.425	+3	▲0	+0	▲24	+11	▲6	+9	+13	▲2	▲6	+4
	ドイツ	2.793	+47	+3	+15	▲16	+23	▲5	+20	+24	+13	▲11	▲8
	スイス	1.565	+58	▲3	▲1	▲12	+9	+5	+15	+31	+14	▲5	+5
	スウェーデン	2.551	+21	+18	+9	▲32	+15	+9	+12	+6	+18	▲1	+7
	ポーランド	4.881	▲152	▲12	+5	▲55	+6	▲26	▲6	+45	+9	▲11	+10
	カナダ	3.814	+92	+10	+2	▲14	+21	▲4	+35	+28	+14	▲6	+10
	メキシコ	7.846	▲99	▲49	▲25	▲28	+2	▲49	▲32	+6	▲25	▲7	▲1
	ニュージーランド	6.785	+51	N.A.	N.A.	▲1	▲9	▲4	+22	+2	+68	N.A.	N.A.
	オーストラリア	5.334	+45	▲6	+7	▲4	▲1	▲12	+27	+6	▲7	+2	▲1
	韓国	5.028	+171	▲10	▲21	+34	+17	▲9	+46	+32	+21	▲6	+18
	シンガポール	2.650	+108	+0	▲1	▲12	+7	+1	+28	+12	+24	+1	+1
	タイ	4.438	+177	▲30	+2	+11	+41	+29	+16	+95	▲23	▲12	▲4
インド	6.150	+24	+1	+3	+3	▲8	+5	+5	▲2	+3	+1	▲2	
10年	日本	1.555	+16	▲1	+5	▲9	+14	+3	+14	+7	▲10	▲2	+7
	米国	4.523	+36	▲12	+1	▲16	+36	▲26	+31	+23	▲7	▲6	+8
	イギリス	4.331	▲20	▲11	+11	▲22	+14	▲16	+13	+5	▲10	▲7	+3
	ドイツ	3.445	▲18	▲8	+5	▲20	+11	▲14	+5	+24	+6	▲11	▲3
	スイス	2.166	▲2	▲8	+2	▲4	▲2	▲7	+1	+22	+6	▲6	▲2
	スウェーデン	3.455	▲42	+2	+8	▲26	+6	▲6	+5	+24	+10	▲9	+4
	ポーランド	5.319	▲80	▲31	+12	▲45	+23	▲17	▲2	+60	+2	▲27	+0
	カナダ	4.108	▲21	▲8	+2	▲22	+12	▲8	+18	+20	▲11	▲9	+7
	メキシコ	8.302	▲169	▲52	▲22	▲21	+4	▲63	▲24	+32	▲32	▲16	▲3
	ニュージーランド	5.890	▲9	▲14	+2	+3	▲1	▲7	+23	+8	▲11	▲4	+4
	オーストラリア	5.384	+23	▲13	+2	▲7	+2	▲8	+32	+12	▲10	+4	▲3
	韓国	5.547	+164	▲20	▲26	+45	+23	▲19	+28	+43	+21	▲7	+12
	シンガポール	3.300	+55	+2	+8	▲1	+0	+20	+3	+18	+19	+12	▲6
	タイ	5.912	+122	▲58	▲5	▲33	+60	+32	+40	+124	▲52	▲46	+9
インド	7.104	+36	▲3	+1	▲13	+8	+12	+0	+1	▲2	▲3	+3	
長短スプレッド	日本	+129.5	+0	+4	+3	▲8	+10	+1	+5	+1	▲4	▲0	+6
	米国	+12.3	▲112	▲3	+3	▲17	▲2	▲6	▲4	+2	▲10	▲3	+2
	イギリス	▲9.4	▲23	▲10	+11	+3	+4	▲9	+4	▲8	▲9	▲1	▲2
	ドイツ	+65.2	▲65	▲11	▲10	▲4	▲12	▲9	▲15	+1	▲7	+0	+4
	スイス	+60.1	▲59	▲5	+3	+8	▲11	▲12	▲13	▲9	▲8	▲1	▲6
	スウェーデン	+90.4	▲63	▲16	▲1	+6	▲9	▲15	▲7	+18	▲8	▲8	▲3
	ポーランド	+43.8	+72	▲20	+7	+9	+17	+10	+4	+15	▲7	▲16	▲10
	カナダ	+29.4	▲113	▲17	+0	▲8	▲9	▲4	▲17	▲7	▲25	▲4	▲3
	メキシコ	+45.5	▲71	▲3	+3	+7	+2	▲14	+8	+26	▲7	▲9	▲2
	ニュージーランド	▲89.5	N.A.	N.A.	N.A.	+4	+8	▲3	+1	+7	▲78	N.A.	N.A.
	オーストラリア	+5.0	▲23	▲7	▲5	▲3	+3	+4	+4	+6	▲3	+3	▲2
	韓国	+51.9	▲7	▲10	▲5	+12	+6	▲10	▲18	+12	+0	▲1	▲6
	シンガポール	+65.0	▲53	+2	+9	+11	▲7	+19	▲25	+6	▲5	+11	▲7
	タイ	+147.4	▲55	▲28	▲7	▲44	+20	+3	+24	+29	▲29	▲34	+13
インド	+95.4	+12	▲4	▲2	▲16	+15	+7	▲5	+2	▲5	▲3	+5	

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化幅(例：4週間＝4週間前の週間変化幅、6カ月前＝6カ月前の月間変化幅)を示す。

直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。

網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい(上昇幅の低い)金利、太斜字は最も上昇幅の大きい(低下幅の低い)金利を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[株式市場]

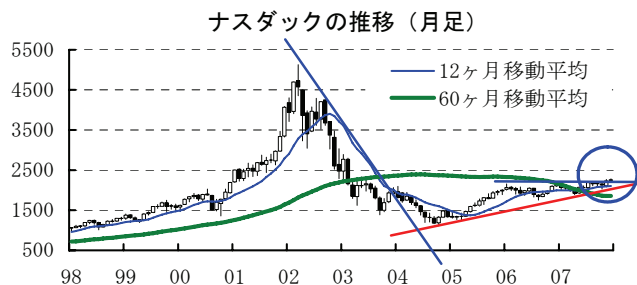
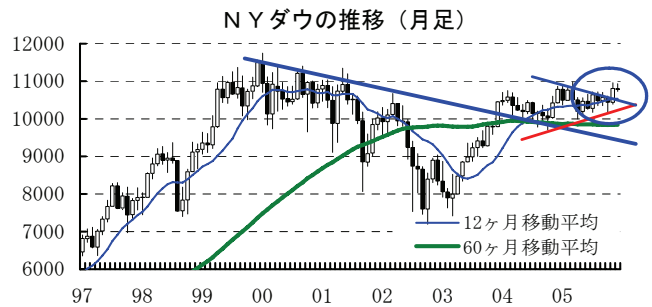
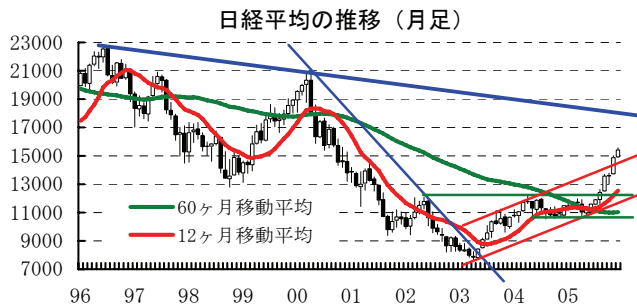
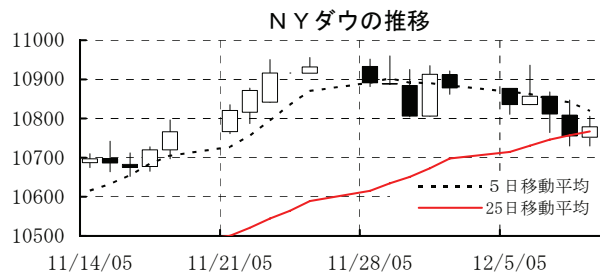
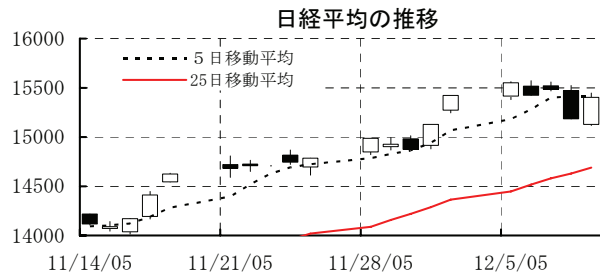
	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
					月間					週間			
		1年前～	1月前～	前週末～	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前	
日本	日経平均	15404.05	+42.9	+9.5	▲0.1	+2.7	+2.7	+4.3	+9.4	+0.2	+9.3	+1.1	+4.3
	TOPIX	1591.23	+44.7	+7.0	+0.5	+2.9	+2.4	+5.5	+11.1	+2.3	+6.3	▲0.1	+3.5
	日経店頭	2461.42	+47.5	+7.3	+2.1	+3.9	+3.3	+1.2	+2.0	+5.0	+6.4	+0.3	+2.9
米国	NYダウ	10778.58	+2.1	+2.2	▲0.9	▲1.8	+3.6	▲1.5	+0.8	▲1.2	+3.5	+1.5	▲0.5
	S P 500	1259.37	+5.9	+3.2	▲0.5	▲0.0	+3.6	▲1.1	+0.7	▲1.8	+3.5	+1.6	▲0.2
	ナスダック	2256.73	+6.0	+3.7	▲0.7	▲0.5	+6.2	▲1.5	▲0.0	▲1.5	+5.3	+1.6	+0.5
	フィラデルフィア半導体	497.21	+16.9	+8.4	▲1.7	▲2.3	+13.2	▲0.1	+0.3	▲9.0	+11.3	+1.3	+4.3
イギリス	F T 100	5517.40	+17.7	+1.4	▲0.2	+3.0	+3.3	+0.3	+3.4	▲2.9	+2.0	+0.5	+0.1
ドイツ	D A X	5282.13	+27.3	+5.4	▲0.5	+2.8	+6.5	▲1.2	+4.4	▲2.3	+5.4	+1.4	+2.2
欧州	ダウ欧州50	3343.57	+21.7	+2.4	▲0.1	+3.5	+3.4	▲0.8	+4.7	▲1.8	+2.0	+0.7	+1.0
スウェーデン	ストックホルムOMX	943.16	+28.9	+4.7	+1.0	+3.8	+5.0	▲1.7	+5.5	▲1.5	+3.2	+0.1	+1.5
ポーランド	ワルシャワWIG	3433.89	+33.7	+4.0	▲0.4	+5.9	+7.5	+3.0	+7.8	▲5.3	+5.9	▲0.8	+3.3
ロシア	R T	1082.40	+98.2	+10.4	+0.9	+4.8	+10.3	+12.9	+14.6	▲7.2	+10.9	+2.0	+3.7
メキシコ	ボルサ	17554.48	+44.8	+9.8	+2.4	+4.0	+6.8	▲1.2	+13.2	▲2.2	+6.8	+2.0	+1.6
ブラジル	ボバスバ	32921.76	+34.2	+7.4	+0.3	▲0.6	+4.0	+7.7	+12.6	▲4.4	+5.7	+2.6	+2.9
アルゼンチン	メルバル	1535.28	+25.9	▲3.6	▲0.5	▲8.0	+10.3	+4.9	+7.2	▲5.1	▲3.4	+1.6	▲5.3
NZ	ニュージーランドSX50	3183.31	+6.9	▲3.6	▲3.5	+7.0	+3.5	▲0.2	+3.0	▲4.3	+0.4	▲0.1	▲0.8
オーストラリア	AS 200	4580.10	+17.8	+1.2	▲0.9	+4.2	+2.6	+1.3	+4.4	▲3.9	+3.9	▲0.5	▲0.5
香港	ハンセン	14910.51	+6.4	+2.1	▲1.9	+2.4	+4.8	+0.2	+3.5	▲6.8	+3.8	+1.3	+0.8
韓国	総合	1317.42	+53.0	+7.3	+0.6	+3.9	+10.2	▲2.5	+12.7	▲5.2	+12.0	+1.6	+1.3
台湾	加権	6264.36	+5.9	+4.9	+0.6	+3.8	+1.1	▲4.4	+1.4	▲5.8	+7.6	+0.4	+1.6
シンガポール	S T	2321.10	+16.1	+2.2	▲0.5	+2.4	+6.3	▲3.3	+1.3	▲3.8	+3.8	+0.1	+1.6
タイ	S E T	697.74	+7.5	+0.1	+5.7	+1.2	+0.0	+3.3	+3.6	▲5.7	▲2.1	▲1.0	▲1.5
インド	ムンバイSENSEX30	9067.28	+43.8	+9.1	+1.2	+7.1	+6.1	+2.2	+10.6	▲8.6	+11.4	+1.9	+1.2
中国	上海A	1170.81	▲16.7	+0.5	+1.8	+2.0	+0.3	+7.3	▲0.7	▲5.4	+0.6	▲0.2	▲1.8

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例: 4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。

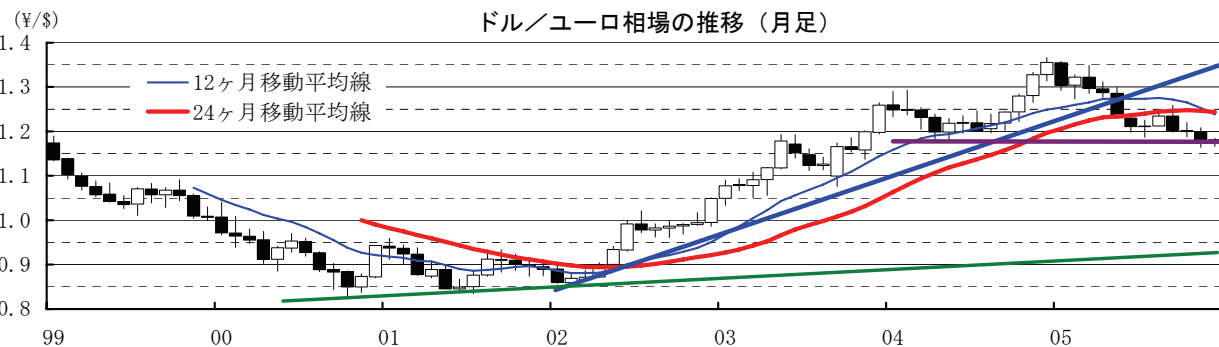
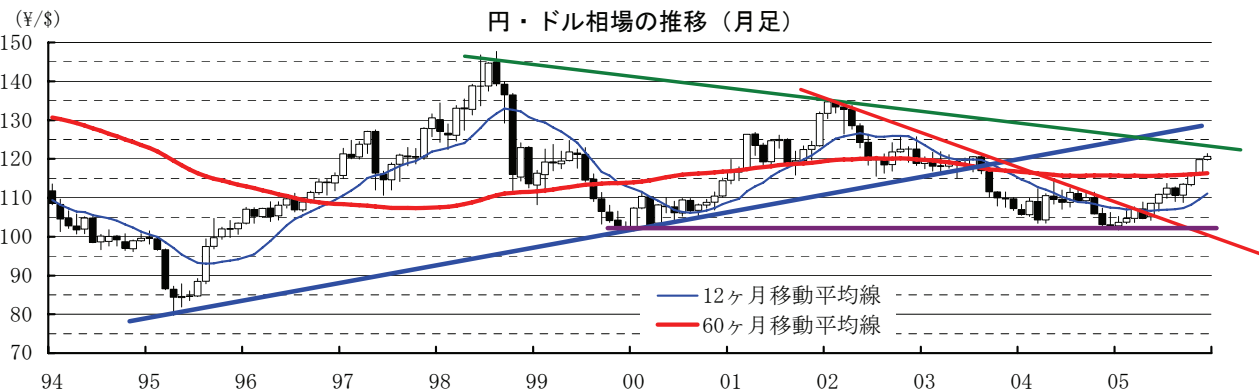
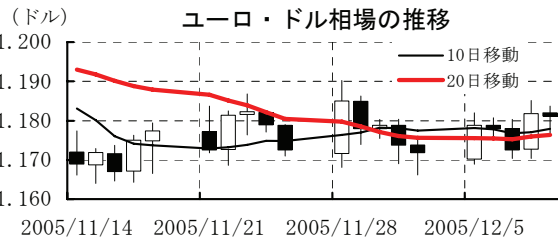
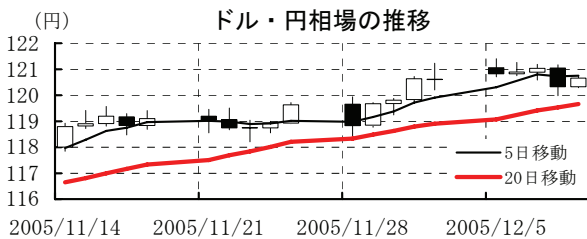


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本円	120.66	▲15.3	▲2.7	▲0.1	▲2.2	▲1.4	+1.7	▲2.6	▲2.5	▲2.9	▲0.4	▲0.8
ユーロ	1.1811	▲11.3	+0.4	+0.8	▲1.6	+0.1	+1.8	▲2.6	▲0.3	▲1.7	▲0.4	▲0.1
イギリスポンド	1.7548	▲8.9	+0.7	+1.3	▲1.4	▲1.9	+2.6	▲2.2	+0.3	▲2.3	▲0.2	+1.1
スイスフラン	1.3026	▲13.2	+0.6	+1.1	▲2.7	▲0.6	+2.8	▲3.3	+0.4	▲2.1	▲0.3	+0.1
スウェーデンクローナ	7.982	▲18.5	+2.3	+0.8	▲5.0	+0.5	+2.7	▲2.5	▲2.8	▲1.5	+0.8	+0.5
ポーランドズロチ	3.270	▲4.3	+4.6	+1.0	+1.4	▲0.6	+3.2	▲0.4	▲1.3	▲0.3	+1.4	+1.0
ロシアルーブル	28.865	▲3.1	▲0.2	+0.3	▲1.4	+0.0	+0.5	▲0.1	▲0.3	▲0.8	▲0.3	▲0.3
カナダドル	1.1573	+5.3	+2.5	+0.4	+2.4	+0.1	+2.9	+2.1	▲1.7	+1.4	+1.6	+0.7
メキシコペソ	10.643	+5.3	+0.8	▲1.6	+1.2	+1.4	▲1.5	▲0.1	▲0.3	+2.1	+0.5	+1.3
ブラジルリアル	2.252	+18.3	▲3.5	▲2.0	+3.1	▲2.0	+0.9	+5.5	▲1.1	+2.1	▲0.4	+1.1
アルゼンチンペソ	3.009	▲1.1	▲1.3	▲0.9	▲0.2	+0.9	▲1.8	+0.1	▲3.2	+1.2	▲0.8	▲0.4
NZドル	0.704	▲1.9	+2.4	▲1.3	▲1.0	▲2.4	+2.3	▲0.7	+1.3	+0.4	+1.7	+1.9
オーストラリアドル	0.7505	▲0.5	+1.9	+0.3	+0.9	▲0.8	▲0.2	+0.9	▲1.8	▲1.4	+0.3	+1.7
韓国ウォン	1033.85	+2.3	+1.2	+0.4	▲2.6	+0.7	▲0.7	▲0.8	+0.2	+0.7	▲0.5	+0.3
台湾ドル	33.506	▲3.9	+0.4	+0.1	▲0.8	▲0.7	▲2.9	▲1.3	▲1.1	+0.1	+0.2	+0.1
シンガポールドル	1.6826	▲2.2	+1.1	+0.4	▲1.1	+1.3	▲1.1	▲0.6	▲0.1	+0.1	+0.4	+0.3
タイバーツ	41.25	▲4.2	▲0.0	+0.3	▲1.7	▲0.8	+0.9	+0.6	+0.7	▲1.2	▲0.1	▲0.3
インドネシアルピア	9685	▲5.3	+2.4	+3.1	▲2.5	▲0.5	▲5.0	+0.0	+1.7	+1.0	+0.2	+0.6
インドルピー	46.22	▲4.9	▲1.1	▲0.1	+0.5	+0.0	▲1.5	+0.3	▲2.4	▲1.9	▲0.2	▲0.8

(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。
 「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。

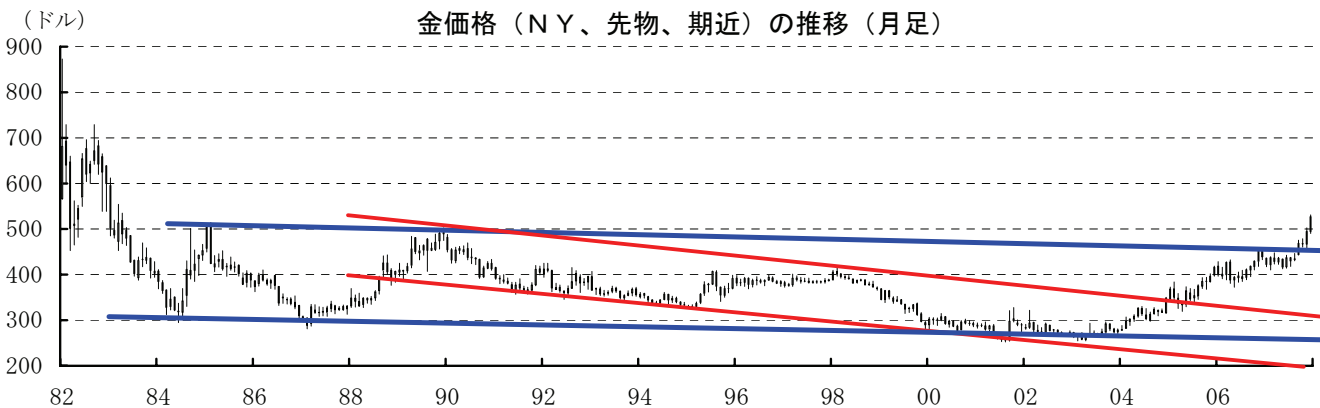
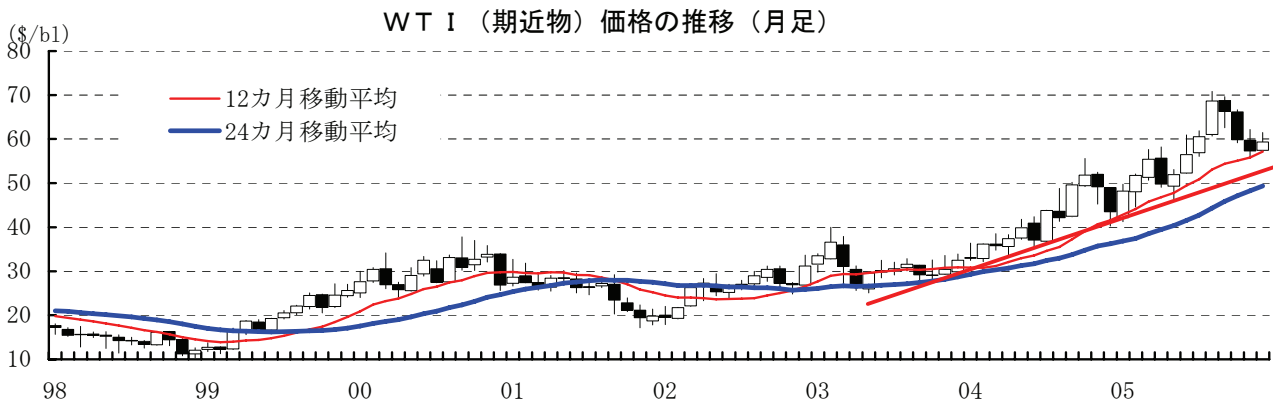
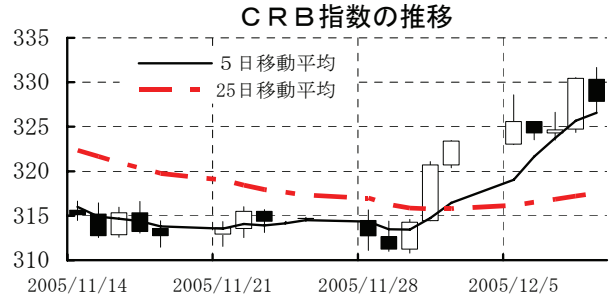
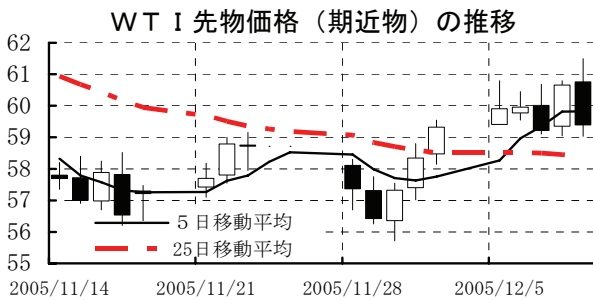


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[商品]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		直近までの変化率			月間					週間		
		1年前～	1月前～	前週末～	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前
WT I	59.39	+39.6	+0.8	+0.1	+8.7	+7.2	+13.3	▲3.5	▲9.7	▲4.2	+2.6	+1.0
北海ブレント	57.31	+44.5	+0.8	+0.5	+9.6	+6.8	+12.9	▲5.3	▲8.5	▲5.2	+0.2	+3.7
ドバイ	55.24	+65.7	+3.3	+4.9	+17.4	+4.1	+10.8	▲3.8	▲8.4	▲3.8	+0.8	+3.5
OPECバスケット	52.94	+56.7	+1.2	+2.1	+9.3	+4.2	+12.7	▲5.0	▲7.4	▲7.5	+1.9	+2.9
金 (NY)	527.0	+20.9	+12.7	+4.4	+5.0	▲1.6	+1.2	+7.8	▲0.4	+5.9	+1.3	+2.5
銅 (NY)	218.00	+58.1	+13.4	+1.2	+3.2	+8.6	+0.9	+5.8	+5.2	+9.4	+2.0	+0.7
アルミ (NY)	104.55	+20.3	+12.3	+3.4	▲2.4	+8.1	▲0.3	+1.1	+6.1	+7.2	+0.4	+6.4
小麦 (シカゴ)	293.00	+1.0	▲7.0	▲3.5	▲3.1	+1.9	▲8.0	+14.8	▲8.4	▲4.1	▲1.7	+2.2
大豆 (シカゴ)	181.60	+15.8	+4.2	+4.5	▲3.6	+2.6	▲14.1	▲8.3	+1.5	+1.2	▲1.2	+2.2
コーン (シカゴ)	189.75	▲2.6	▲2.8	+0.0	▲4.4	+11.4	▲14.8	+2.0	▲4.5	▲4.5	▲0.8	+0.0
CRB	327.81	+17.8	+3.6	+1.4	▲0.3	+4.0	+5.6	+1.1	▲5.0	▲0.6	+0.6	+2.8
JOC	117.90	+4.4	+1.4	+0.7	▲1.4	+0.2	+5.5	+6.7	▲5.0	▲0.2	+0.3	+0.3
日経商品指数 (17種)	118.29	+12.4	+3.5	+1.6	+0.6	+1.2	+0.3	+1.0	+3.1	+1.8	+0.3	+1.2
日経商品指数 (国際)	108.12	+25.0	+1.2	+2.0	+3.1	+4.5	+2.9	+2.5	▲2.1	▲3.0	▲0.3	+0.3

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率 (例: 4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率) を示す。
 直近値以外の単位は%。
 OPECバスケット、日経商品指数 (国際) は木曜日、日経商品指数 (17種) は水曜日の値。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい (下落率の低い) 商品、太斜字は最も下落率の大きい (上昇率の低い) 商品を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。